



園南前つ
側側にか府秋
のに最の中の
木あ初栗市味
とるの林の覚
枝栗保が保
が林育あ育
最の園り園
も持をまの
たち建す近
く主設。ぐ
さがし二に
ん一た十は
の保後三い
実育、年く

支部長あいさつ
卒業生会東京支部長 中山正雄
(二十一期)



東京矢高会 ニュース

〈 第 21 号 〉

子はでが畑育そ た正ら下ま後つ
ど、お栗が園し東ち雄ののせでは
もサ借をあでて京もく職名ん、持
たツり拾りは栗の私ん員前一畑た
ちマしつ、隣林府をにでとにせ
といてそにも中正な正呼。返て
のモいきの二見市雄つ男ん、しし
米がまた畑百らにくてさで保にま
作、す方は～れはんいんい育行い
りま。の、二ま、とまがま園きま
でたち土子百す畑言すいすでまし
稻、よ地ど五。やい。て。はすた。
が一うでも十私竹ま子、以職。
実部ど善た坪の林すど私前員す
りに今意ちの保、。もはかをみー

の歳ま植き提るがすで子、キつ
保のきえ嫌供。、ぐて野どゴュつ
育子、のいすそ子に収菜もボト、
のどキダがるのど折穫とのウリ、
一もヤイなこともれし対年な
部たペコくとれがてま面齢どナス。
分ちツンなでた直とすしにをス、夏野
にがなやり、野にい。ま応沢
、植どニま驚菜手うピすじ山トマト、
畑えのンすくをにもー。て収穫し
にま苗ジ。ほ毎取のマ手一握しま
行しをン先ど日つもんで歳い
くた、な日野のてあなち児しま
時。三どは菜昼取りどぎか
間毎～の、の食穫ま枝りらたゲン、
が日五種秋好にすすが取畑。シ



事編發 行
務集行
局人行
號行數日

三千三中卒島第令
〇葉業根和四年十月二十日
九市宅山生県二十一号
一綠良正東矢上高
四区高津二雄会立校
四高三戸高等學校
一津町
〇五



でんさでま経持言て員くいたちく戻るあ
すでなどす緯ちーはててだ主らり場り、
よいおおがを主て番、も無いのいま所、
。る子詫持話のきに迷と理て家離すにこ
返顔さびっしおた園いーにいがれ。なこ
さをんをてて宅の長な瞬子るあて園つは
な浮ですき、にでにが思どこりいかて安
くかしるた畠電す報らつもと、るらい全
てべよと、こに話。告園たたを園栗はまに
良るう、とおをすしまよち職に林三す土
いと。奥は返しぐなでうに貢畠の百。と
でよ拾様事しまにけ帰で返もを近メ栗か
すかっが実にし、れっすざ知提く一のか
よって一な行た私ばて。せつ供にト話わ
一た喜小のき。がとき職なてい持ルにれ

集小たがっししとたなは同く行結まと友ととた池りて上でとんでがとコ島 ◆たがかの歳いもしでしに育らと
落さい落ててくしめくお級れ委婚し何達こ思。のにい高懐寂びのでで口根九島い、「かのた嬉たふたい園二言
のいとち元下てたに、金生ま員した人のろっ友側何た校かしり帰き、ナに月根とこと、子かし。か。つに時つ
友こ思着気さ何覚すニをはし会ま。か顔だた達で度老やしいと省ま兄の里はに思ののしだらい地し百ば訪問で
達ろついといでえる人貯ごたをし私のがっがのいか人高い感過としの陽帰じてい論意つか拾日域た人いれ後く
つてた聞まもがもでめく。友たは状思た、家た迎ホ校場がごなたお性りめ友まは見けらうでの栗ののたにだ
らいらいし嫌あのおてわ東達。二況いの車、こえーの所あしりが許者しのをすこもはとてし方を子大おーさ
体一ま会てたがりー金かず京がそ十を浮かで子とにム寮をりま、しがま台思。こあど言持たにごど栗客こい
も緒すつい。らまともらかに作こ四知か一行供を寄の、回ましし念が出し風う
大に。てま彼ずすい愛すでまつてでるびとくの思つ跡母りしたたの出てたが
き育もおすはに。う情るすでて結おこ、。と頃いた地がまたが。たてい。近
くつう礼。地手、話もも。来準婚金と兄何ーは出こ、昔し。ひ三め帰る邑づ
同てーもコ元伝君をたのーて備式もがに人こ遠しと学にた兄つ泊にると南く
級き人言口にいは彼めで結いしのなで聞かんいまや校努。とそでーこの町中
生たはいナ帰を優らるは婚るて実くきくのななし、帰め矢車りの人とこもで



るつれすとて話るきま ◆思に両両番に郷幼つ子んと今としをかの島た月りりまりた生で集小
うにたるがでいにのてし一東い思親親の喜はいかどだを回話たた崩な同根がが結て、せ手私のし落さ
えなかの、精るなはいた年京まい以と目ん、こしも寺聞のしら。しと窓の六流婚東さん当のこたのい
でりらは私いよつ大ま。前支し出外も的で親ろさのやき帰た連そて期会い十れ式京。し手ろが友このまで多がつた変せ本に部たさのにだもがの、頃畠ま省ま絡の出待「こ五」でク彼てを一兄達ろ
セすすく自ばな方でん当支長。せ人亡つらい友時のやしでます後席しがい歳連しもルもく口緒貴でか
」。の分い現やす。に部と
フ人東人なな状友。人名長して
テと京とり時で達私と前を
イの支のにもすにものだお
ネ関部出生沢。不多関け引
ツ係も会き山自義く係でき
トはそいてあ分理のを何受
で生のがいりのをお続もけ
すき一あらまこし世けでし
るの輩を母をすしと礼めさ
ざらの輩を母をすしと礼めさ
さいの重方大校卒。まし申にま晚
を益手。コ。戦を会に告してま職責が変の業昭すてしごに秋
先田はべ。次五は記を行すて、す責を築光校し和。着上尽はの
制東夏スル戦回松し觀わる矢本
し高のトドは江た戦れべ上来
ま校大4。瀧工いしたき高な
す。会をで摩ル業とた島所校ら
が幸に懸完高ド高思感根でのば
、先コけ勝校。校い想県す近こ
2よ。たしにでとまや高が況の
回くる準ベ9幸対す過校、に誌
裏初ド々ス。先戦。去秋今つ上
2回で決ト2よし。の季回いを
死に敗勝8へく十思野はてお

◆思に両両番に郷幼つ子んと今としをかの島た月りりまりた生で集小
うにたるがでいにのてし一東い思親親の喜はいかどだを回話たた崩な同根がが結て、せ手私のし落さ
えなかの、精るなはいた年京まい以と目ん、こしも寺聞のしら。しと窓の六流婚東さん当のこたのい
でりらは私いよつ大ま。前支し出外も的で親ろさのやき帰た連そて期会い十れ式京。し手ろが友このまで多がつた変せ本に部たさのにだもがの、頃畠ま省ま絡の出待「こ五」でク彼てを一兄達ろ
セすすく自ばな方でん当支長。せ人亡つらい友時のやしでます後席しがい歳連しもルもく口緒貴でか
」。の分い現やす。に部と
フ人東人なな状友。人名長して
テと京とり時で達私と前を
イの支のにもすにものだお
ネ関部出生沢。不多関け引
ツ係も会き山自義く係でき
トはそいてあ分理のを何受
で生のがいりのをお続もけ
すき一あらまこし世けでし
るの輩を母をすしと礼めさ
ざらの輩を母をすしと礼めさ
さいの重方大校卒。まし申にま晚
を益手。コ。戦を会に告してま職責が変の業昭すてしごに秋
先田はべ。次五は記を行すて、す責を築光校し和。着上尽はの
制東夏スル戦回松し觀わる矢本
し高のトドは江た戦れべ上来
ま校大4。瀧工いしたき高な
す。会をで摩ル業とた島所校ら
が幸に懸完高ド高思感根でのば
、先コけ勝校。校い想県す近こ
2よ。たしにでとまや高が況の
回くる準ベ9幸対す過校、に誌
裏初ド々ス。先戦。去秋今つ上
2回で決ト2よし。の季回いを
死に敗勝8へく十思野はてお

1れの進7勝！ い球九ご借
点た相出回利〇初出大月報りさ
を益手。コ。戦を会に告してま職責が変の業昭すてしごに秋
先田はべ。次五は記を行すて、す責を築光校し和。着上尽はの
制東夏スル戦回松し觀わる矢本
し高のトドは江た戦れべ上来
ま校大4。瀧工いしたき高な
す。会をで摩ル業とた島所校ら
が幸に懸完高ド高思感根でのば
、先コけ勝校。校い想県す近こ
2よ。たしにでとまや高が況の
回くる準ベ9幸対す過校、に誌
裏初ド々ス。先戦。去秋今つ上
2回で決ト2よし。の季回いを
死に敗勝8へく十思野はてお

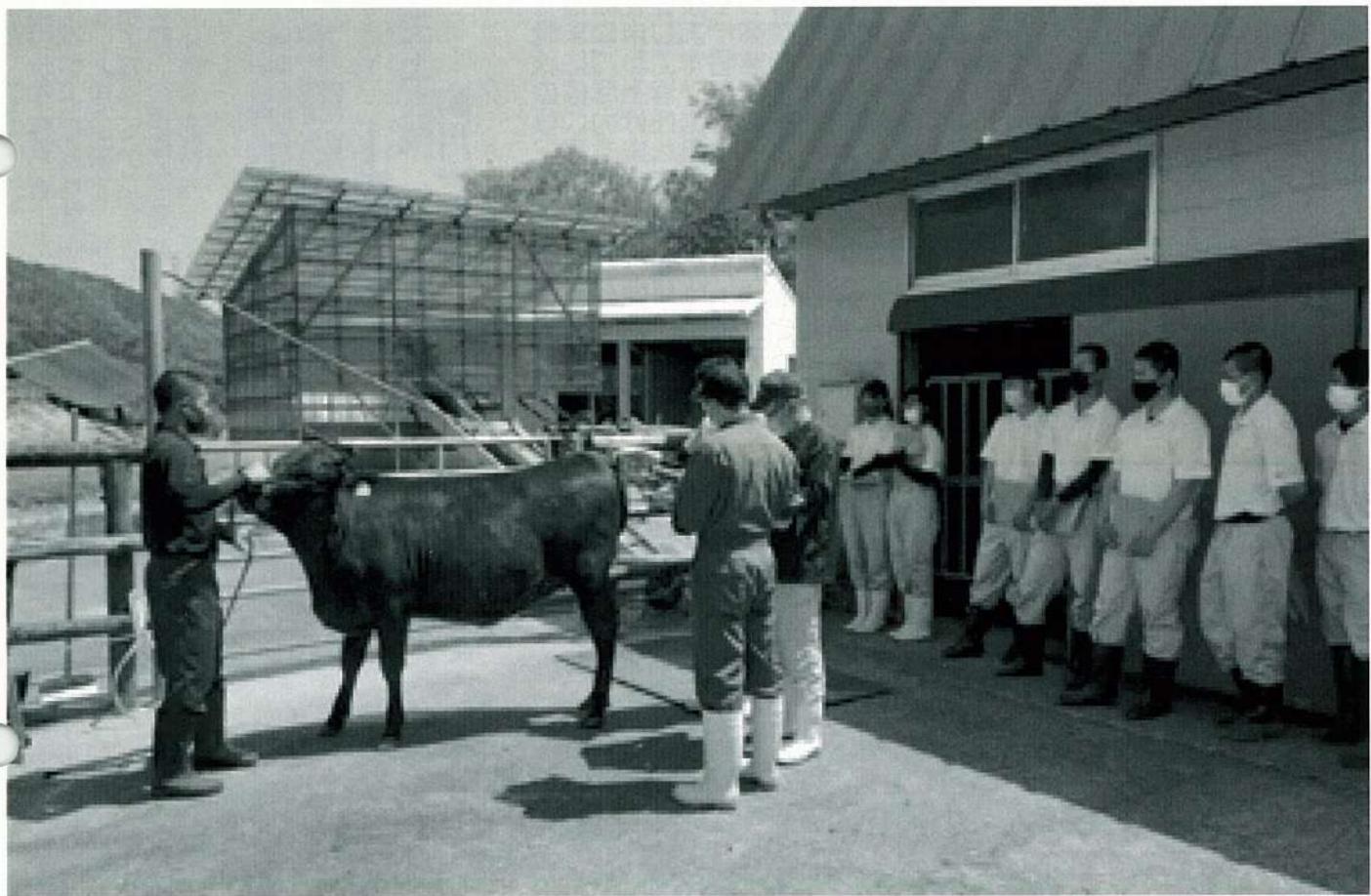
ざらの輩を母をすしと礼めさ
さいの重方大校卒。まし申にま晚
を益手。コ。戦を会に告してま職責が変の業昭すてしごに秋
先田はべ。次五は記を行すて、す責を築光校し和。着上尽はの
制東夏スル戦回松し觀わる矢本
し高のトドは江た戦れべ上来
ま校大4。瀧工いしたき高な
す。会をで摩ル業とた島所校ら
が幸に懸完高ド高思感根でのば
、先コけ勝校。校い想県す近こ
2よ。たしにでとまや高が況の
回くる準ベ9幸対す過校、に誌
裏初ド々ス。先戦。去秋今つ上
2回で決ト2よし。の季回いを
死に敗勝8へく十思野はてお

ご挨拶 — 周期野球大会 — 思い出 矢上高校 駒川一彦(二十五代校長) (三十五代校長)

しお緒たイコ
よ願にいベロ
うい築ヒンナ
う。しい思トが落
おまていまど着
ち。計いて非け新画
たしら、い
まおらいごく
す会と関ごつ
い皆係案つ
し様を内か
まに一しの



も子 静ろのでが前すソ援いで試場そ年 感を外は私はま呼のな運ない一しすむ併墨が代に5展あか
甲園さかうチ皆しらでるフし氣観合をの浜さじいで技立大すぶ持いやいる多たのこ殺と沈わ運回開つら
子出てにかヤがた、泣浜トま持戦を懸年田てたくの術高き。のちの流。のく。がとやい黙つばに。とミ
園場、見どん喜。私き田バしちし浜けの高、一よ勉だ校なーも方はれーにの試やがミう。たれ23いス
にをそ守、スびそ自崩にンたをま山た夏校私戦う学けの差と実が普を一期方合ってス好7相さ点回うや
応果のる三は合し身れ2ク。抑し球決のにはで努やで壁は話力ま段こ不待に後とき、機・手ら本に間不
援た年私墨いうて複る、ホ結えた場勝島勤ニし力振なは無さ。だから運に応部でず凡を8投に墨1に運
にし、で側つ中浜雜矢11果つ。の戦根務十たするく厚いれまさららな応援長3、打つ回手苦打点4な
行た十しのや、田な上でクはつ母浜で県し五。る舞気くとまだのに面えし、19でく共にしを返点ヒ
き浜六た矢つ矢高気の惜ス和浜校田矢大て年
ま田年。上で上校持選敗投田田を高上会い前
し高ぶべくののち手。手投高応校対甲まの
た校りンるこ応でをベーハ手校援応浜子し平
が。のチのの援一見ンをへをし援田園た成
、私甲 をだ次席杯なチ擁現応た席の出。九
と上以にがにしを識れ、訳て、ま返込、2線た席、うり



ルで色よか開を年
「き々うな催対前詩
プるな。ラさ象、吟
で趣趣とイれに職と
す味味いつて一場の
る。をうつい退で出
趣二持も、ま職は会
味人ちのクし準五い
等でなでをた備十は、
々すさし今。セ歳
。るいたか退ミに今
何趣。ら職ナなか
を味一内準後、るら
や・人容備の一職三
つグではし豊が員十

洲浜豊和（十一期） 詩吟と私

せ心発がて おいでし國ても園秋と何決をお出は園ヨ川ら裏で、石
てよ展、し取願まきいのる冬出のいと勝見現場十のナ選にに3擁川
頂りと矢まりいする報矢と次場大うか戦る役、八魔ラ手無連対す投
きお、高い留い。限告上感第は会思矢そとのそ年物負に死続1る手
ま祈会会まめたこりが高じて消でい上し、和しづをけ無満安で秋へ
すり員東しのしれ応で校た来え敗が高てあ田てり見。念墨打リ田現
。申の京た無まか援き卒秋年まれ沸校甲の・四にた一のとや、商ヤ
し皆支。いすらしる業ののしてきを子時石十浜試瞬四な工ド業ク
上さ部最内。もてよ生大夏た来上念園の川歳田合の球リラしにル
上げまの後容。応いうの会にが春が願を矢両を高で出で最1な9ト
ごのまにで援き、皆では、のの思上投超校し来押後でが回ス
挨ごすな長。よた私さし期新選て申いと手えがた事しは同ら表ワ
拶健まりくと勝すま記。ろい自また待チ抜き子出浜のて甲。に出打点、終口
さをのすししと身に。が、甲ま園し田活今子今申し者。そ了、
く思も嬉全持ム子すへ、の躍な園夏子サ石さのまズ



師との出会いが
人生の道しるべに
徳永静江 (十六期)

いとら 清す聴す活要る帰 な和あどがだまヨ りが前人苦出
とたん元掃るボが動求ボりま楽気えのわさでン大と、ま達痛展
思るテ氣やこラ はさラ たして人かいので学て感でとです
つもイな公ヒン福地れんそ いい聞はると経職校も染定はある
アう園でテ祉域まテの卒学あき勤人言歴員入残症期コつよ
いで活ちのあい施にすイ地業校いまはわやの学念の的口たう
るす動は清るア設よ。ア域し生でせ先数れ役方時で流にナ。
がを大掃。、でりこ活でた活接んな人の職かのあ行撮感こ写
貢地学等私公の内の動必らでし。どい。はらオつと影染の真
献域校をも園清容ボを要出あてそ不ま自全入りた共会症写が
しので行福清掃はラすと身つ大の明す然て学工。にをが真無
て為学つ祉掃活異ンるさのた變為でがと忘しん 中し流クく
いにんて施等動なテこれ地。有みすほ勤れたテ 止て行ラ一
き、だい設々、リィとて域 意んしと務てらー といすブ番
た微ボたのを傾まアがいに 義な、ん先く今シ なたるのの

対ものを定し幼稚園立・行た な薄のがも高 残敬会とたを卒ワに当公しい化 方僚ま自いえと高矢
面新十教C年た稚し保資き。転つれ繰過すの東念しをり。親業クな然平たつ学振々 し分まば大齢高今
授型五え大後 園な育格、結職ててりぎぐ先京な、最をそ身時フリ、。も担りのおたなす長学者を年
業コ年る学の のが園を幼果先き返、に輩でこ信後しのに、ク、化公ま穩當返心世。りがい教と卒六
か口目立の十 園らと取稚、にまてし会慣がのと頼にま後な先ト特学正たやのつか話家に、道員な業月
からナ(場学五 長、公得園幼はし、に社れ何就はし計し、つ生キにので、かAてらに庭納幸のをるしに
才が令に生年 と最立し教兒、た転はでま人職あた報た何てはド実授人生で先矢感なを得いり務七、喜
ン流和なたは、 し後幼ま諭教あ 職、のしか先り師がが年探、キ習業氣徒ユ生高謝つはの病でめ十二寿
ラ行二りち、 ては稚しと育れ を少単たい、まを届、もし東し、はがた、で時いたじいむああ五十を迎
イし年まに縁 定、園た保のこ 考し調。て会せ失き広年て京た実、あちモし代た多めくこづげ歳二迎
ン、し、あ 年文の、育専れ えずなし、社んうま島賀下でも毎日アたのしく、人とたまま歳え
に授はた幼つ を京7東士門惱 つ事か寮。こしで状さののの回まはが。担まの職生もよしでかま
様業不。見て まB移私許へし よ魅務し生は、 とたのい就で時樂し、あ先任す先場をなうた幼らし
変は運最教母 わ、に後育校 う力仕、活 ほ。同やま職し間した常り生は、輩の歩くに。稚後た
に後育校 にが事時に矢 ど尊窓りし先たはみ。にまは、の同め、思思園期。

港ハ間で五田し た出 こ四ド球本年石
にイ半す一午た私 一る皆いす今と十名用社矢見昭
もジく。便前昭が 一經さと、回が七バ品を上町和
ビヤラ羽が七和初 験ん思ニはで年タメ置高中ニ
リツい田ハ時四め をもいつ会き間フ、く校野十
着クし空イ発十 お自まの社ま、ラカ、をに六
陸さて港ジ福七飛 持分す出勤し當イ、今卒生年
しれ機をヤ岡年行 来務た業(株)で業ま・
ま長飛ッ行十機 事時、畠に夕はしれ一
すしよびクき一に 一入マ世東、九
「たり立に、月乗 筋社ス界京昭五
と、一つあJ六つ に。有杉和一
ア羽當てつA日て 勤以ブ数並四年、
ナ田機一たし、出 め来ラの区十
ウ空は時の三羽張 する、ン卓に五旧

酒井富雄 (二十一期)
我が人生の出来事

ちま彩る高方らな てのにのり
改すりベ時でしり昨妙年苦才し
め。を、代満に、年に勞ンまで
関添との足ななか安あがらし
感わえなよ感じんら堵たあい。
謝りてりきもめだーしりりん
の下、師味なか専ま一まはこの
言あさ私とわいメ業し年し
葉つつのつでリ主たでたア歳
をたた人出ていハ婦。終がナに
伝多と世会いまリー わり丁グて
えく思にいますのの
たのつ豊がすがな生
い人てか道。、い活
。たいなし矢一暮に
迎退間
え職故て

繩夫！ ーん長つと件もフス市る出
り人ー飛でにて同でぎラかがこ来私
返はと行いーい乗す取ンラドと事が
しー何機るおたし。れスイイでで初
たやとだ！父社て会る機タツすすめ
たつもかーさ長い社事のりで。。て
めば面らとん夫たの故翼ア開スこの
り白羽話ー人ら社にのへかボレ海
社おい根し社が、長巻一移れーも外
長か返はか長驚窓、き部動たツ飛出
がし答飛けーい側社込がす際用行張
のい。ぶ、羽ての長ま飛るに品機し
ぞ！ しか社根隣席夫れ行エフのにた
きーから長がのに人た中、ラ見関時
込としねが飛社座ら事にルン本すの

すた件割の手の当だ取れ乗江長单う集おつ息し員交機4汗イ物ン
。こので話で日日の材てし利室独でまらて子たが渉内、ジにス
と話会ー迎かの一はいてチに犯すりれい。解時で5かヤ弱が
を題食割えら最般なまい工籠。テまる私島放間缶時いツいあ
鮮で会、てお終人ししてミ城ピ犯レハ根ざ、詰間たクし
明異でハ頂客便で。た、さ。ス人ビ、イサのれ、め、と
に常はいい様です。マン乗トはにとジん実、そ状滑羽は初し
今な、ジたの福の当我ス、客ル政釘連ヤが家事の態走田。めた
でほハヤリ会岡で然々コ三の一治付絡ツ今に情日、路空掌て
もどイツ、社入でにミ田中丁目けがクニも聴の犯に港にの高
覚盛ジク商へり業しはに明にを的に入機ユ会取夕人留にジ飛い
えりヤの談訪し務よマ取さはもでなりに、社も方とめ着ツ行所
て上ツ話は問てはうスリん歌はつ親乗スか受乗警置陸ト機と
いがクが仕。事。コ囲も手てなた戚つにらけ客察かしりで乗
まつ事九事拍次件たミま同の機くよもてなーま全のれてとハリ



や着をたらのま引機々なサン
握陸防へ勢手しき長のつて
手しぐ着い前た返よ席たを確
でたた陸よで。しりは。呼認
喜時め時く旋しま—別バベし
びにとに噴回かす本の「—た
合はの引射しし「機席サと瞬
つ乗こ火しなーとはに一言間
た客としてが時機フ移やわ」「
は(国みそ機て燃以放ンれ長て井
籍んし体て料上送ス、が大君、
関なてのいをもが空そ来騒、
係拍無爆ま翼空あ港のてきパ
な手事發しか港りに後我と」

を③ ②①る で左国こし
忘 忘し翼しと
れ日 健一わ期たのまがその
ず々な痛康日かに、一しでの
に感つん—り、今も世の中、何が起
て番笑い色(へ
生きたいと思
います。

ます) い々々な
アチコチが
お世話に

頼ら
が十二
年一〇
一九年三月号
に経つた。
故郷を思
う今は

石見町を離れて四十五年、今想うこと!!
森脇 誠(三十一身期)
(矢上出期)

我え人助ち近のる人 介のい明 るとか験故で働毎こ遠つてい故ま十を前回寄
がを力けが所時 手農す経るに今 感らが郷きく日のくてたは郷れ八読回寄稿
家すで合おの期田が作る験実覚で じこあでるこ健地離いく今へ育年みの稿して
にふる田つ互人に植か業。を家えも てそつのと康でれな変ものつ間返原のて
手 植ていたはえかは 紹でて鮮 いだた經はがで、たいわま思た生し稿依か

るに自いんきメでてで服欲え 喜自完い聞いと間ででをる さめに産つの飯な日す とたも伝
実行、分。しと指る |隣もきがしあ今び分成ていたしを運引倒山実を、葬して周のくのる牛をえ段い
家為暴のこかも先 ルの乙る翌いれのをたさ、てのてかびか木林家学他った近り食な貴。を学ず取に
でに言考れし便一 で人。日もば時学ちせ思間で使け、せしかをんのた時所の材つ重鶏飼ん次り來て
の走、えて、利つ 意と市仕にの、代んでたい取、えて製る、ら新だ生。にへ土にたなをつた。よくれのよ
経験を振り返ると、ほ 通はで事はがス、だや。通り父る乾材。ソ必築命生はお手す鶏食飼て
きりいん時思 疎、会で、自マ物。るでりを親。燥しトリ要するをき、裾のるは材つ仔
なにのだ代い、なで、暴力りいかかで通り、なる、な 通会議は身宅ホがこきの考自父さたラになるをいる家分除。母とて牛
相手を傷つけぐ きがしに届のあを話でとつくボふ とる家えら親せ柱ツ乗松際、た族け草ヤ親な卵を
がて職などなつ金 図をつき接け、タれ、そと数設族大や板でて杉は、だめみ。とギがるを産
でも場くが洋でさ こなる。しこき一お しは年計の工つな製馬、くん子、を裁。産ませ、
てすか図意をとど材に檜所 てすか図意をとど材に檜所 こ食なヤお飼い卵ませ、
造べけを見し材は所麓な有 て描をて料時ままです とべでギ乳ってをせ、出
る墓がをて晩産尊た地死絞家ごま每荷



川に繋移かさを大氾はぎ動、と目震平た身任世日すの続心二る緊連濫タ自し友食の災成。にイ宅庄人べ当の二遭バに内の物た被十三遇ン辿空乗不り災三しこり港用足に者年日ク着か車にしと三のいらで陸たな月、正チた飛歪路避り、業ヤ。行んが難、張が才同機だ全先酷先水プ年を悪滅でい東没ラ九乗路のは光北被ヤ月りをな寒景で

して赴半まな継き良見の汜の紀本危長の橋茅が場感内経町じ外ちに現役社機動時試にが代試験も多はに來遇中身て日すの続心二る緊連が発境さ事迫日苦刊をんがし猛暑思か多た暑をれいらくな容続お察しがま内と一頭い書のこチウが下にま書に「ラが大しが三ブイり変た届宅でナ

七十歳の危機 を乗り越える

上田一夫（二十一期）

しいや然んし共にそでか汗し
想於保知盆地を思い出すたびにそ
う。産しさな代便た。おを相がみにたを
次は大だ利互図手か、出
の財地かさらこそ、に感謝し
世産でそこには、住邑つ
代に引き継こむ南つ
いの人町も、美々の
で美々のほしの自己
解やニ、を自
決りケ、き頭動ら

良人りく転増した去を解の医先ンかた不たに腺な全無くつけ検ナしが不間る路ま！　ず勤歳つい害
今いにズな車え。のに。り頂禁会を日トでも安身よ癌いくかのいた案禍たら安が習をつ「やにめでたもに
年か優ムらや筋甘検モ現解き日話訪三業はのを体るを奇無つ病て。内で。もに長慣整てとり七を定も避あ
のもしをな卓肉い診ヤ金放、「はれかのなの煽に摘要妙いた院ネ目が遠定手駆くがえい思た十続年の難つ
人しく作い球がスがモなさ一運五た月遠か強つ重出知な検自にツが心ざ例掛らな「職たいい歳けをのでた
間れ思るけの落イ樂ヤ事れ運動分検の方っがたく手さ心查分行ト充のかのけれつ一場。き事で、迎任き現
ドないつど仲ちし感にたのも程査術出たり一圧術れ境結にく検血不り息た生た転の車やが会そえ期た場
ツいいつも自間たツみがギ晴不〇度結後張の週しの「に果と程索す協、抜事活。」C通七色社し、を。
グ。きり分に今とに消ヤれ安K「果検も別笑間掛け入続なはつ度しる和人き案り得自A勤十々をて技全幾ら
りでの加「食さえチたは」今を診こ途顔でか院いつ口でたほ音間飲はズ体宅D経歳出退心術う度三
楽い仕わゴ欲え去エ瞬一笑日見のなコの退かはてたで自病。どにドミスムので電路の来職の顧しの週
しる事りルでなりン間氣顔はた為しん奥院り弱ダ。言覚氣風P拍ッ会ぐが知過源で危てし準問た危間
む、と、フ体つ三ジがにでゴ先になサはと益りビ中い症に邪S車グもに崩れごを思機。た備と六機後
事まし上や重てかし訪消説ル生担がル穏な々きン前表状縁でAをのコ完れなすい考は最。もし十はに
がたて手自がき月たれえ明フと当らタやつのつチ立せがが近にか精口了ない時れ回始高せて二あ幸



いつも即ち活躍自何た東徒私とに矢親のるでいりか一枝そ々け肅こ四
までは決たが立分で女京さがい対上元人場すうまけ矢えんをたせ数年卒
しい「だのあでの矢生かん初うし高を達合。として上よな送がざ年目業
たるとつがる寄理高徒らはめ思て校離との入、たい高う中つ活るはに生会
。とてた矢と宿想にさ矢志てい地をれの手寮一。た校と、て動をコな会副
かいもそい舍と来ん上の送が域選、交助生つ具だ地い矢いが得口り会長
口う樂う高うがすたで高し迎形のん数流けがに体き域う上るでなナます
ナこじで校条あるんし校つさに人であ会で医は的、応主高ときい禍
でといすだ件り学?たをかせながくるのす療一に役援旨校こず状に
なで学。つに「校一。選りてつ何れ学中。機寮何員団でをろ悶況あとい
け、校入たピやをと
れ嬉生学らツリ探聞
ばし活ししタたしい
支くをくくりいたた
援思送か、だ部ら
ら

「地域力の すごさ」 卒業生会 服部裕子(二十八期) 副会長

二ト出七
の二下
下りを
坂準か
人備判
人生で
を歩る
よ。う沢
心山な
しの危
てセ機
第口が

いもり係までと校にくは違年ル度シスーン草やトでげ 今を会し者が
ま矢、につ、もを携感樂う長しにヤ。年飾刈卒しますよもは作のてが寄宿舎に出向
す高微あて矢な卒わじし若のて着ツこ間りり業よ。ううでつこコミ宿舎に
。を力るき高か業れるく者メい用やののなや式う色と一きてとミミ宿舎に
盛で矢まをつしるこもたんましジ会活ど昇のと々いつないをユニケ
りは高し身たてことあちバすてヤに動で降駐いなうはくた知ニヨ
上あのた近私かともりと一。矢ンはをす口車う面応地てそつケ
げり応。ににはあ、一で私高パオ話。の場思か援域残うて
てま援地感はは自り体緒親は応リしそイ係いら団で念でもシテ
いす団域じと学分、力に子こ援がジ合のルやの学と矢ですらヨ
きがのと矢て校ので的活ほの団あナつ年ミ環元校し高すがいソ
たこ一密高もに子もに動ど会をりるてのネ境、をてを
いれ員接愛刺行供こ情すもでア事の決初、整入サの盛
とかとなが激くがのける歳はビ業ポめめシ備学ポ活り
思らな関深的こ高会なの最の口まにヨの式、動上

矢上高校 頑張つてます! 卒業生会 土居達也(二十二期) 副会長



様
私
は
二
十
二
期
卒
業
生
で
す。
若
様
こ
う
か
。東
京
支
部
の
皆
さ
ん、
お
元
気
で
し
ょ
う
か
。大
変
な
感
染
が
広
が
り、
お
互
い
に
思
い
ま
す。

ついで意ル邑ボ 高ん氷 がるせ氣し朝 を察フ | 含て感て十環タオ し関 の任皆た 一初期い
参くて矢伝見「南」首生がが滞不関ん温 は冬感さイムむい染き名とウリ邑まわ教教しさだ矢の代のと
加り、上えをブ町市都は雪張在思係。もタ十のじセンス時ま拡まをレンパ南すり育てんい高部か卒思
ししフ高ま交にののへいのつ中議かし零方時時までラテ期す大し派てにラ町
たてイ校す換分こ高ルま止てになそか下三頃期しいンイに。にた遣フなのは
中いンの。しかと校シすにい必くれし十時まなたドも一十よ。しイツフ、
高たラ生 まれを生ン 楽るずらほ °Cにでの。だのお週二つ残 ンてイ昨
生のン徒 すて伝とキ し湖さいど空はははで
たがドが °テえ交の そにウで寒気珍陽陽フ
ち印と男 つま流隣 うはナスクがしががイ
は象の女 たマすしの にに。感乾く沈昇ン
様的違交 なに。て市 転入る
々でい際 いつまい がりり じ燥はみりラ
なしに 英いたま工 るまま なしあまマン
違たびつ 語てグス 中せす のいま。んは、
のいま。んは、

き様願間月で念交ライン年
、々い滞の、な流もラ開
日なし在ク現がをドレン催
本とてしり在ら三へたドさ
とこいまスはコ年中。のれ
のろます。マ中口実高そホた
違をす。ス断ナ施生のス東
い視。ホをしのし約一ト京
し關 の任皆た 一初期い
の長長いのて会分ら業つ
一のもま手まのに数生て
つ視務す元す副なえをい
に点めがに。会って送ま
触でて、届ま長て卒りし
れ、い今くたをし業出た
さ矢ま現こ、務ま生しが
せ上す在ろこめいのて、
て高。はにのさま約い早
報校 告と 南、りてた分す十
町退がい。の。数

たつ行でえべおにがつ たつてえまたなわや時
げとつ」、コ父朝、た前がたき でかるしあ代は
なたと早をさ方牛か号 °のてちは、けも思にあ
しげら。う産ん、ゆいの お「よ母忘え、い使
、「な、目行みが亡うな「 義。おがつよ立く飼。あ
理父産覚ちるちなおこず の親のめやがんつとりる
おは真たら、さたつや」 父靈つ父にあつはたあ思
さ感最親やすてず父、い
んが中があつ、の親昔出
を強、牛やと一義ののし
大かあ舍れる牛理枕話ん
事つずにんけがの元ださ

たつてえまたなわや時
げとつ」、コ父朝、た前がたき でかるしあ代は
なたと早をさ方牛か号 °のてちは、けも思にあ
しげら。う産ん、ゆいの お「よ母忘え、い使
、「な、目行みが亡うな「 義。おがつよ立く飼。あ
理父産覚ちるちなおこず の親のめやがんつとりる
おは真たら、さたつや」 父靈つ父にあつはたあ思
さ感最親やすてず父、い
んが中があつ、の親昔出
を強、牛やと一義ののし
大かあ舍れる牛理枕話ん
事つずにんけがの元ださ



れ行魅 にす護ア一町 し減 まちい
て政力矢地。者が環い内矢て少島す
いもあ上元あか始とまの上いか根
ま一る高がるらましす子高まらの
す体高校応会もって。ど校す広高
。と校がえで好て寮県もに
なで、の評い生外たも
つあ生形寮をまの生ち県
てる徒で生得す通の外
取よた始のて。院魅刺生
組うちま切い県ボ力激が
がににり実る外ラづに多
進地とまなよ生ンくもく
め域つし要うのテりな学
らもてた望で保イのつび

う込力合幸払てよて援減心頂まの
でみ、い込よ何うお等によきす会本
す手ド現で取う口おりに努りま。費会
。数や金す扱いで願ま役め御し本と運
よ料通で。票もいす立周礼た年寄當
ろが帳はAにつおし。て年申。度付の
しいでなTてて納まごら行し有も金経
くく手くM、おめす協れ事上難大で費
おら続ゆでおり頂。力るやげう勢運は、
願かきう送納まく一くよ、まごの當
い安頂ち金めすこ口だつ在すざ方さ皆
しくくよざ頂。と千さ積校。いにれ様
まなど銀けれ同が円い立生経まおて方
するお行るれ封でとまもの費し納おか
よ振の場ばのきしすし応節ためりら。

令和4年度年会費納入ご芳名

五口 大羽登（6期）中村輝夫（4期）藤橋百合恵（21期）

三口 酒井富雄（22期）石川義之（5期）三浦政喜（6期）服部 豊（15期）

花本保博（10期）山田 効（18期）下瀬忠枝（5期）三宅良二（35期）槇 昇（30期）

三宅光寛（21期）

二口 斎藤 均（19期）木村信恵（18期）宮田 勉（19期）中岡庸修（15期）

日野原育生（8期）藤本秀子（21期）後藤勝子（6期）上田敏道（19期）

一口 椿美津枝（13期）沖 征広（14期）神田信子（23期）小林千賀（13期）伊賀美穂（21期）

一谷邦男（9期）日高文三（瑞穂1期）吉里輝子（13期）稻田 肇（8期）伊東順子（23期）月森敏雄（32期）

日向 護（17期）植田豊（13期）坂根由里子（15期）竹内常年（瑞穂18期）日高早苗（12期）森岡武（14期）

日高正行（10期）洲浜豊和（12期）江藤洋子（13期）門屋邦子（12期）日野勇夫（瑞穂7期）

福岡幸雄（13期）濱田逸子（14期）倉持桂子（14期）松村恵美（29期）上田昭臣（17期）岡部輝生（21期）

岡部 健（28期）今田幸江（19期）宮田 勝（14期）浅原美恵子（21期）柳瀬百合子（8期）宮田和明（45期）

定私今総笑 の聞矢よると弁よ 合か矢さに
し学年会いあ総き上おすははうさうな上つし
ち会とはんつ会んの思「一」にあとい弁たと
や館同五さ、でさ親い。よゆ、「」のん
ん「じ月る来。つ戚出思つるひ乾た「」ださ
さを「二か年 たやしいとすねいかてあろつ
い予ア十もの もらん出違「」りたなこずうた
よ約ルーし事 え同さしう。出ぞ
。しカ日れを え級らん、普しう
とデ(日)ん言 で生んさ矢段たき
るイにがや 「にかつ上使今ん
けアや、あ 答電った弁う号を
え市る来、 は話たかの「」のし
、ケよ年鬼 は次しらい「」許矢ぼ
予谷うのが 回て、なゆす上る



おがス | ののゴ親散泊千やつコ年
待増ボツ開ゴルを策し葉ろくゴア以コ
ちえ | の催案フ深し、県うりルを来口
してツ秋に内、め、秋有や温フ氣、ナ
ていが、しでと、紅の数一泉でに四の
おる見コたすい温葉養のとにすし年影
りよ直口い。う泉を老養い入。なぶ響
まうさナと今一を樂渓老うつ、いりも
すれ禍思回泊満し谷温こて泊、のあ
す、でいもゴ喫んや泉と、り和開り、
。ゴアまニルしで養のでゴがや催
ゴルウす組フて、老旅、ルけかで平
参フト。以コ、宿の館今フでです成
加人ドス上ソ翌で滝に回う、樂。三
を口アポでペ日懇を宿は、ゆレシ十

ゴルフコンペのご案内

年会費 一口1000円 何口でも
口座番号

00140-0-72177

◆金融機関からの振込用 口座番号
ゆうちょ銀行

019(ゼロイチキュウ)店

当座 0072177

口座名 矢上高校卒業生会東京支部

日時 令和4年12月12日～13日
宿泊 黒湯としし鍋の宿「嵯峨和」
千葉県夷隅郡大多喜町葛藤20番地
☎ 0470-85-0321
1泊2食付き 14,000円
ゴルフ場 千葉夷隅ゴルフクラブ
千葉県夷隅郡大多喜町板谷588
☎ 0470-83-0211
プレー代 8,960円(セルフ昼食付)
13日 西コース 8時48分スタート



願下しとしたすを務 たぞよわやあするるすと持のつ京情S思出いるな上の久がい誠の
いさまい、け。大局合しようしあな。い方方。て卒て矢報Nわ來世とく京い会し社まに活日
しい。すうやえ、募をわまろーがなこ一方、ご計る業頂高発Sれて代思なすま貰い会すあ動頃
ます。の方つ、定集せしいていとSをそお協画よ生き会信をまいのいっるすもで問。りには
すよで、た時年してて。くうごこなN大の手力しいうと、のを活すなフまた卒。年す題少がご東
。ろ、フげ間でて頂当 お方おとらS募方伝いてに繫若活し用。いオすこ業実々がに子と協京
しごよも退おけ会 願、しだ、集面いたおすぐがい動てしそよ口がと生際減、な高う力矢
く協口うあ職りるの いどたけわそ中に頂だりるり世を、たこう。もがに少当つ齡ご頂高
お力、かるしま方事 いうげえきがで明けけまこを代知東、でにが若あ少、し会て化ざき会

大募集



左から大羽登(6期)下瀬忠枝(5期)石川義之(5期)



コロナ禍の総会懇親会の様子

取そ葉とセものよ久期言い忠 東今長 望取れ野し、四の生れ催と感私今かたた月
 引のメか。ミ「世うし」わま枝本京も年中等組、義よ前期校。たで中染学年ら御。二令
 先実一。別ナ石界やぶはなし先日矢現福山、在則う号卒長、す止拡会度宴茶会十和
 の直力服名見で一り今いた輩参高役祉正熱地校副かにの先今三。で大館か会ノ場二四
 病な一部を銀はとにもで。加会。関雄ぐ域生会?寄、生号十母し防一ら事水は日年
 院仕に豊一開山知。矢ゴ下一以のを繋係(語との長卒稿二に)に五校た止に一業亦今正度
 勤事勤へ兜催一る大高ルさ最前紅盛がに②の頑一業十な寄期かのなアカテま午第
 務ぶ務十町しと人羽会つい後は一りり携期て関張十生に二ら稿のらでたりルラルでよ四
 にりさ五のていぞ登でを。の毎点上をわ。頂わつ三会続代れ駒今、めま力撤ジ開り十
 がれ期生活う知、ゴエ石参年、げ大っ新きりて期本い三た卒川年三昨しぐ退ユ催開七
 今認定き躍名る六ルン川加参五た切て支ま、い部て宅の業一四年年たイしラし催回
 はめ年はる中前存期フジ義一加期いにこ部し将るがかニ美は生彦月ぶ、アたクてざ総
 月ら後長化とで在うヨ之なさの、しら長た来様出ら人明、が校赴リ一コ市たがいれ会
 にれば年石の毎、は、イんれ下とてれは。の子席は目校二母長任の昨口ケめ昨まが
 数、製一こ月今株し。五てて瀬。、、、展やさ河で長十校先さ開年ナ谷、年しし五

開・令和4年度総会 懇親会がされました

が時記には校合い校近の回少いご近年醉手でスつ今懇フははでア。ま参兄方弟寛理県祉上定地十三楽回
 早間念万、歌い想に況場は数て挨況はい酌し料出回親エ着万コテクテす加弟公。は事人関げ年方一宅しの
 いの撮歳声齊まい対報に各精い拶報各氣酒た理さは会形席全口リ。頂で務同光。会係、ま公期光むゴ
 こ経影三高唱しをす告立自銳まし告期分で。のれー式ビ。ナシルブいい員じ寛三の。今で務寛生ル
 どつを種らのた語る。つがのすてを毎。ほ各よコ入すでユ通対ヨのル。てつ。元の宅常島は勤員は活フ
 の。か後。り熱母てそ今が頂、に例ろ々う。ずがのツ常策ンバはいもご地実雅任根福め。元二。を



ぞくにり願しこ々のま皆次場の難いいなせら謡あな省だ完んずた町懐したつ線し
 ご生はまいてれ、思す様回を方う致行いてお公るりしけ了タ。はかた。た日た急
 自活、すし頂まテい。か発おにごしつ方頂言演よ少てと写。今な踏し。収三本。
 愛はどがまけで、出身ら行借もざまでもき葉をうしもな真にはか切さ地録江旅先涼
 三愛もう誤すれのマ、近のはりごいすみ。まに計にす大つでお年な事を元は線で日し
 宅下だぞ字。ば人は我な寄來し協ま。ちどし甘画思つ丈て、願にか故感の前の平、く
 さ続お脱編幸生自がこ稿春て力し今やがたえしいコ夫い家い二帰のじ人年再成六な
 良いき許字集いを由青とを三御頂た号ろあ。てま口でまとし回省無まとの放三角つ
 一。そしがいで振で春かお月礼き。にうなごチおすナシす墓でシすいしの秋送十精て
 う下あはすりす時ら待の申ま卒も。も興ラリ。前よ。のいルる町たやごを年児秋
 三十五期。でさり注返。代、ち予しし業寄宜ん味シ。私にうそ様るバコに。りろしにのめ
 すいま意宜るごや趣し定上た生港しかのを勝の戻かろ子草」となまとのて廃呑い
 。。しし機自人味てでげ。会頂く一あ同手方り。そを刈人がりたりよい線みて
 どマたてく会身生やおすまこ本きお回る封なもつ秋ろ知り材出来ま邑にうまに鉄き
 うス折おおにの等旅り。すの部有願見方さが民つと帰るのセ来し南、でしな本ま

編集後記

令和五年度年総会
市五月二十一日(日)アルカディア
ケ谷私学会館で開催予定